

平成30年度 矢上高校 学校評価報告書

学校教育目標: ふるさとを思い 地域社会・国際社会に貢献できる有為な人材を育成する							
分掌による自己評価		目標値・評価欄 A 3.0以上 B 2.9~2.5 C 2.5未満			分掌による自己評価 4: 良い 3: だいたい良い 2: 少し改善すべきだ 1: 改善すべきだ 0: わからない		
部署	目 標	H30	目標値	内部評価	成 果 と 課 題	来 年 度 の 取 組 み	学校関係者評価委員会評価意見 (ABC)
学校運営 1	1.「重点目標」に基づいて教育活動を展開する。	3.2	3.0	A	8つの項目にわたって様々な反省と課題はあるものの、学校全体の協力体制のおかげで、概ね良い形で教育活動が展開できた。	それぞれの問題点を検討し改善し、目標達成ができる環境作りに努める。	A
学校運営 2	2.運営委員会、職員会議、その他各種の会議を各々適切に運営する。	3.4	3.0	A	会議については、審議と連絡の区別を設け、朝礼伝達等も利用して効率化を図り、要領よく運営されてほぼ予定時間内に終わることができた。	内容の薄いものにならないように留意して、今後とも適切に運営できるように努める。	
学校運営 3	3.校内組織の編成を適切に行う。	3.1	3.0	A	教員数が少なく、仕事の掛け持ち等で多忙だったと思うが、各部署連携のもとによく運営をしていただいた。	実際に運営してわかる多くの意見を聞きながら、その年々の事情も考慮して、より良い組織の編成に努める。	
総 1	1. 各分掌、学年会、各種委員会、矢上高校魅力化センター等との連絡調整に努め、学校行事の円滑な運営と学校の活性化を図る。	3.4	3.0	A	今年度より朝礼プリントを導入したことで、教職員間の情報共有がスムーズとなり、また朝礼や職員会議の時間短縮につながった。導入に際してアドバイスを下さった先生方、ありがとうございました。	来年度以降、職員会議の在り方を検討したい。	A
総 2	2. 学校からの活発な情報発信を行い、家庭や地域の認知度を高める。	3.4	3.0	A	年度途中、魅力化と協力してホームページをリニューアルした。部活動の大会結果の集約やアップも魅力化と協力して行っている。少しずつ軌道に乗ってきているのではないかと。	来年度はアップの際の基準や体制を整備したい。また部活動や行事だけではなく、生徒の日常的な活動も発信していきたい。	
総 3	3. 図書館の利用環境を整え、読書活動の推進を図る。	3.2	3.0	A	図書だよりの発行など委員会の活動も活発に行い、また今年度は中学校との連携にも取り組んだ。司書さんにはとてもよく取り組んでいただいたと思う。	部内で図書担当の教員を割り振り、司書さんと協力しながら環境の整備や活動の推進を行っていきけるようにしたい。	
教 1	1. 生徒の学習意欲の向上と望ましい学習態度の実現に努める。	3.2	3.0	A	アクティブラーニングを取り入れた授業を多くの先生方が実施していただいていることが評価につながったと思われます。	学習時間調査の有効活用を考える。	A
教 2	2. 新教育課程の円滑な実施と授業力を向上させる機会の設定に努める。	3.4	3.0	A	主幹教諭を中心に公開授業を行うことができた。授業公開ウィークで公開授業に参加する先生に限られている。	引き続き公開授業を実施する。放課後にタブレット講座を開催しICT機器の利用を広げる。校外研修会の案内および参加を促す。	
教 3	3. 担任・学年会・校務分掌などの協働体制の確立に努める。	3.3	3.0	A	特別な働きかけを行ったわけではない。コース選択等、学年会と協力する体制を強化したい。	特別なことは考えていない。必要に応じて協力していく。	
生 1	1. 安全で安心して学べる環境づくりに努める。	3.4	3.0	A	学校生活を安心して学べる活動の土台は、生徒の意識改革にあると考えられる。その生徒に関わる教員のチームワークがとても良かったため様々な問題に迅速に対応でき、これまでの活動の改革や改善を積極的に取り組むことができた。	年間通して、時代の流れによって変更するところや改善するところは思い切って改善していただきたい。	A
生 2	2. 生徒の自主的・積極的な活動を推進する。	3.3	3.0	A	様々な活動の中で事前に教職員で安全に関する準備をした上で生徒たちの自主的な取り組みを見守るという体制が整っていた。生徒会を中心に生徒同士のチームワークも良かった。	生徒が自主的・積極的に活動するための意識の土台づくりを継続して行っていただきたい。	
生 3	3. 人権尊重の基本に立って、生徒同士が互いの人格を尊重しあい、高めあう意識を育てる。	3.1	3.0	A	今年度は、いじめの認知について教職員間で共通理解を深め、その対応が迅速に行われ認知件数も上がった。様々な視点からしっかり指導してきたと考えている。昨年度よりポイントが下がった理由が分かりかねるので、具体的な内容等ご指摘いただきたい。	引き続き早期発見、早期対応の姿勢で対応していただきたい。外部機関を活用し様々な視点から指導することも進めていただきたい。	
進 1	1. 「総合的な学習の時間」・LHRを活用し、自己のあり方と生き方を考えさせる。	3.3	3.0	A	1・2年生については鳥次訪問、生き方講座、未来フォーラムなどの行事を魅力担当や学年会の先生方の協力で行った。並行してベネッセの進路サポートを用いながら、進路学習を行った。3年生については志望理由書、面接試験に関する指導を行った。先生方の協力で概ね満足いく結果となった。	来年度から総合的な探求の時間が始まるため、教務部、魅力化担当などと協力しながら計画、運営をしていきたい。	A
進 2	2. 三年間を見通した計画的な指導を行い、進路目標を主体的に設定させる。	3.2	3.0	A	3年間を見通した各学年における「進路指導の流れ」を年度初めに提示し、学年会と共有した。各学年ともに、進路ガイダンスなどの進路行事を実施し、学年に応じて進路に対する意識を深めていくよう努めた。	来年度の2年生から新入試制度が実施される。他校との情報の共有、行政や業者の説明会に参加することにより、新入試制度の内容を把握し、教職員、保護者へ情報提供できるようにしていきたい。	
進 3	3. 一人ひとりの希望に即したきめの細かい指導を行い、進路目標を実現させる。	3.3	3.0	A	先生方のご協力のおかげで、生徒一人一人に担当をつけて小論文・面接指導を行うことができました。ありがとうございました。	ほとんどの先生方に複数の生徒を指導していただいている。今後も推薦入試、AO入試の受験を希望する生徒は同程度か、それ以上になると考えられる。クラス全体の指導の段階である程度完成させ、先生方の負担が軽減できるよう努めていきたい。	
保 1	1. 心身ともに健康な高校生活を送るため、自らの身体に関心をもち、健康を増進しようとする態度を養う。	3.3	3.0	A	身体測定や各検診をおとして、生徒一人一人が自分の身体や健康状態に関心をもち、健康的に過ごしていけるよう手助けし、取り組んできた。保健室に相談に来る生徒たちには、より丁寧に悩みを聞き、相談に乗ったりアドバイスをきちんとするように心がけた。	可能な限り生徒一人一人の体調や健康状態に配慮する。	A
保 2	2. 学校環境の美化に努める。	3.3	3.0	A	安全点検を実施し、事務部の協力により掃除用具の整備や修理をすることができた。また掃除時間は先生方のご協力により、生徒たちがきちんと掃除に取り組み、学校環境の美化に努めることができた。今後ともよろしく願います。	さらに学校の美化に努める。	
保 3	3. 相談活動の充実を努める。	3.4	3.0	A	スクールカウンセラーやホットスペースの先生方と生徒や保護者、教職員が相談活動を行えるように計画実施することができた。限られた時間ではあるが、相談者は有意義な時間を持っているようだ。	今後も誰もが相談できる場を設け、それぞれの悩みの解決につなげていく。	
舎 1	1. 生活の規律化による学習の充実。	3.0	3.0	A	昨年より引き続き、食堂や空いている部屋を開放（希望者は、申し出て使用）して学習しやすい環境を整えました。各部屋での様子は、引き続き舎監の先生方、巡回指導をよろしく願います。学習に集中できない要因として、携帯電話でのゲームと部屋の荷物が整理できていないことだと思います。家庭と連携して指導していきたいと思えます。	引き続き舎監の先生方よろしく願っています。	A
舎 2	2. 安全の確保と環境の整備を行う。	3.2	3.0	A	寄宿舎生からの要望に対して大きいサイズの冷蔵庫の購入や洗濯場の修繕など、寄宿舎生が安心して生活ができるよう環境整備していただきました。事務部には迅速に対応していただいていたことに感謝しています。今後ともよろしく願います。	可能な限り環境の改善を行う。	
舎 3	3. 舎生の健康の保持を図る。	3.2	3.0	A	食品衛生上の対応は、昨年度より引き続き先生方にご協力いただきました。また、体調が悪い生徒への対応は、保健部や学年会に協力をいただきありがとうございました。今後ともよろしく願います。	家庭と連絡を取りながら適切な対応を引き続き行う。	
産 1	1. 教科指導・進路指導や人権教育の徹底を図る。	3.3	3.0	A	先生方との連携でスムーズに運営ができた。	今後も継続させていきたい。	A
産 2	2. 農業クラブ活動の活性化と充実に努める。	3.4	3.0	A	今年度全国大会で2名が優秀賞を受賞した。	農業鑑定競技会では一定の成果を取っているが、今後は課題研究や意見発表などの発表活動にも力を入れたい。	
産 3	3. 地域との連携を図る。	3.5	3.0	A	今年度も様々な形で地域との連携を図ることができた。	今後も継続させていきたい。	

1年1	1. 基本的な生活習慣の確立。	3.3	3.0	A	遅刻・欠席は少なく、教室等の整理整頓も概ねできている。情報モラルについては、講演を聞いたり、LHRで話し合いをしたりしたが、携帯を使い過ぎたりけじめがつかない生徒も多い。	声がけをしながら基本的な生活習慣を身につけさせ、また、引き続き、情報モラルについてしっかり考えさせる。	A
1年2	2. 人権尊重の精神と態度の確立。	3.2	3.0	A	集団生活を通して、人権尊重を学び、身につけている生徒も多いが、相手の立場に立って行動できないこともあった。	あらゆる活動を通して、しっかり考えさせ、行動させる。	
1年3	3. 自主的な学習態度の確立。	3.3	3.0	A	授業中は概ね真面目に取り組んでおり、課題の提出状況も概ね良い。しかし、わかるまでじっくり取り組むまでは、できてない生徒も多い。	授業を大切に、予習・復習をしっかりすることにより、日々の積み重ねを大事にさせる。	
1年4	4. 進路目標の確立。	3.3	3.0	A	生き方講座や進路ガイダンス、職場体験、大学訪問等を通して、自分の進路について考えはじめた。しかし、コース選択決定が難しい生徒もいる。	進路目標について、引き続き、実際に地域の人の話を聞いたり、職場体験や大学訪問や自分で調べたりすることにより、主体的に考えさせたい。	
2年1	1. 基本的な生活習慣の定着。	3.3	3.0	A	生活時間記録を活用して個々の生活習慣確立を支援できた。遅刻・欠席の数が比較的少なく過すことができた。	継続的に多くの先生方に関わってもらいながら指導を行う。	A
2年2	2. 人権尊重の精神と態度の定着。	3.3	3.0	A	学校行事やホームルーム活動を通じてクラス内の連携を向上することができた。	あらゆる活動を通して、しっかり考えさせ、行動させる。	
2年3	3. 自主的な学習態度の定着。	3.2	3.0	A	生活時間記録を活用して個々の学習習慣確立を支援できた。成績上位者・下位者に個別指導を行うことができた。休日の学習時間確保が引き続きの課題である。	「平日～時間、土日で～時間」といった目標を徹底させる。部活動との連携をさらに強化する。	
2年4	4. 進路目標の具体化。	3.3	3.0	A	面談機会を多く持ち、進路支援を行うことができた。「学年通信」を発行し、保護者への情報発信にも努めた。科目選択調査を通して、より具体的な進路意識の確立に努めた。	早い段階で進路目標を明確にし、それに向けて何が必要かを考え取り組ませる。	
3年1	1. 基本的な生活習慣の定着。	3.1	3.0	A	一部の生徒で頭髪や授業態度等で問題になる生徒がおり、生徒指導部を中心に指導を行っていただいた。その生徒に引きずられるような生徒も見られた。しかし多くの生徒はきちんとした態度で生活できていた。	継続的に多くの先生方に関わってもらいながら指導を行う。	A
3年2	2. 人権尊重の精神と態度の定着。	3.1	3.0	A	学年が上がるにつれ、目に見えるような問題は少なくなり、成長した生徒も多く見られた。	教員間で情報を共有し、自分の行動がどのような影響があるか生徒に考えさせ指導していく。	
3年3	3. 自主的な学習態度の定着。	3.1	3.0	A	先生方には授業、その他の場面で働きかけをもらったが、目標に対して、自主的、継続的な学習ができなかった生徒が見られた。	授業の準備や取り組みを再確認させ、学習態度を向上させる。	
3年4	4. 進路目標の実現。	3.2	3.0	A	多くの先生方に教科、面接指導、小論文指導に関わっていただき、進路目標を実現した生徒が多かった。	早い段階で進路目標を明確にし、それに向けて何が必要かを考え取り組ませる。	
事務室1	1.連絡、相談を通じて全職員との情報交換を密にし、必要な情報の共有に努める。	3.5	3.0	A	全職員との情報交換に努めたため、概ね必要な情報共有ができた。	今年度と同様。	A
事務室2	2.経費の節減を図り、効果的な予算執行により教育環境の整備に努める。	3.2	3.0	A	効率的な予算執行に努めたことにより、教育環境の整備が進んだ。	今年度と同様。	
事務室3	3.効率的な運営に向けた業務の点検に努める。	3.3	3.0	A	業務点検を行い、効率的な運営に努めた。	今年度と同様。	
		3.3					